

ごみの減量・再資源化に関する市民説明会 概要
【健康プラザうえだ】

1 開催概要

開催日時		令和 8 年 7 月 28 日(火) 19:00～20:15
開催場所		健康プラザうえだ 多目的ホール
出席者	市民	27名
	行政(市職員)	資源循環型施設建設推進参事、 ごみ減量企画室職員 3 名、廃棄物対策課職員 2 名 資源循環型施設建設関連事業課2名

2 主な質疑応答

No	項目	質問・意見等	回答
1	指定袋	上田市に転入してきたばかりだが以前住んでいた自治体に比べ指定袋が小さく驚いた。大きさが違う理由は何があるのか。	指定袋は、有識者や自治会関係者等で構成する廃棄物処理審議会に諮り決めた経過がある。袋が大きいとごみも増えてしまうといった観点からも現在の大きさとなっている。
2	雑がみ	製品のタグは雑がみとして資源物になるとの説明があったが、防水加工したようなタグが多いので、加工などしないように行政からも話しをしてもらいたい。	行政からメーカー側へ話をするのは難しいので、市民の皆様にきちんと分別していただけるよう、広報やホームページ、SNS 等で周知してまいりたい。
3	ごみの分別	薬を1錠ずつ包装している薬のシート(PTP シート)は、プラマーク付きプラスチック袋(緑字の袋)で出すのか、燃やせないごみ袋(赤字の袋)で出すのか。	プラマークの表記があれば、あわせて金属との表記があっても、プラマーク付きプラスチック袋(緑字の袋)で出していただくルールとなっている。
4	ごみの分別	汚れているプラごみは、最終的には埋立処分となるのか。	最終的に、埋立処分となる。

5	最終処分場	最終処分場がない中で、それを解決するためには、ごみを減らすということしかないのか。	最終処分場が全国的にひっ迫しているということではないのでご理解いただきたい。なお、広域連合では、焼却施設を建設する上田市以外の東御市、長和町、青木村のどこかに処分場を建設する方針で検討している。ごみの減量・分別により埋立ごみも減少するので、引き続きごみの減量・再資源化に協力いただきたい。
6	ごみ減量の取組	5R が大事であると感じたが、仕組みは難しいとしても取組を盛り上げていく工夫など、考えていることはあるか。	市民の意識を高めてもらうために、この説明会に限らず、広く周知するよう、またソフト事業も充実させるなどして力を入れていきたい。
7	生ごみの減量	(1)生ごみが減少している理由は何か。 (2)スーパー(事業所)の生ごみなどは増えているのか。	(1)4割程度であった生ごみは現在1～2割程度まで減っているが、その要因は、コロナ禍によるライフスタイルの変化や国民の意識の高まり、カット野菜・カットフルーツ・冷凍食品の増加(調理の手間を省く)などと捉えている。 (2)事業系のごみは毎年1万2千トン前後で推移している状況であり減少しないことが大きな課題である。
8	周知方法	ルール違反ごみが出されることが多いので、より多くの方にこのような説明会の内容を知ってもらいたい。	違反ごみがあった場合には、廃棄物対策課へ連絡いただければ対応させていただく。また、多くの方に知っていただくよう、周知してまいりたい。
9	環境教育	小中学生に動画を分かりやすく変えて見てもらうなど、学校等と連携しての取組はどうか。	上田市では市内の小学4年生が毎年、クリーンセンターの社会科見学を行っているが、動画をわかりやすく編集するなど、引き続き、あらゆる手段を使い、連携して取り組んでまいりたい。